

主 文

原判決及び第一審判決を破棄する。

被告人を懲役五月及び罰金五万円に処する。

但しこの裁判確定の日から三年間右懲役刑の執行を猶予する。

被告人が右罰金を完納することができないときは、金五百円を一日に換算した期間被告人を労役場に留置する。

本件公訴事実中、物価統制令違反の事実について、被告人を免訴する。

理 由

本件公訴事実中、物価統制令違反の事実（第一審判決摘示第三の事実）は、昭和二七年政令第一一七号大赦令一条八七号にあたるので、刑訴四一一條五号、四一三条但書、三三七條三号により、原判決及び第一審判決を破棄し、右事実については免訴の言渡をしなければならない。

弁護人木島菊雄の上告趣意は、右大赦該当のことを述べるほか、量刑過重を主張するに止まり、刑訴四〇五條の上告理由にあたらない。

よつて、第一審判決の確定した食糧管理法違反の事実（第一審判決摘示第一、第二の事実）につき、犯行当時の食糧管理法九條、三一條、三四條、同法施行規則二三条の二、二三條（昭和二五年九月一日農林省令第一〇一号による改正後は、それぞれ四一條の二、四一條）を適用し、さらに刑法四五條前段、四七條、一〇條、四八條二項、二五條、一八條により裁判官全員一致の意見で主文のとおり判決する。

公判出席検察官 岡本梅次郎。

昭和二八年一月一六日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官 霜 山 精 一

裁判官 栗 山 茂

裁判官	小	谷	勝	重
裁判官	藤	田	八	郎
裁判官	谷	村	唯	一 郎